

営農部営農支援課、北部エリア（久喜地区）担当の戸ヶ崎です。

今年度より、新任の営農渉外（TAC）として、日々、訪問活動を通じながら、農業者の所得増大と農業生産の拡大に向けた取組みを行っております。

私が久喜地区で行っている取組みは下記の通りです。

- ①私の担当する北部エリア（久喜地区）では、まるで栗を食べているかのような味わいで尚且つホクホク感があることが特徴の「ほっとけ栗たん南瓜」を久喜市のブランド南瓜として確立出来るよう努めております。「ほっとけ栗たん南瓜」は、短節間性で作業の省力化ができ安定した栽培が期待できます。久喜市の特産に向け市内量販店、直売所での販売を行っております。
- ②水稻の省力栽培として、鉄コーティング種子を用いた水稻直播栽培（水稻種子を鉄粉と焼石膏でコーティングし代かきした水田に直接播種する技術）、密苗栽培（高密度に播種し苗箱数を減らす技術）いずれも、育苗に要する施設、資材、労力、作業時間を大幅に減らしコストを削減させる技術であり、鉄コーティング直播栽培と密苗栽培を組み合わせることで、農作業を分散し、一層の規模拡大やコストの削減を図ることが可能です。
- ③現在、輸入に頼っている状況の加工用業務野菜においては、国産への需要が高まっており、機械化による作業が可能な作物もあり、大規模な遊休農地の解消につながります。計画的な生産出荷を行い、契約栽培取引による収益の安定化を図るための有効な手段としてご利用頂けます。
只今久喜地区では、加工用玉ねぎ生産者4件と加工用キャベツ生産者3件の生産者に取組んでいただき、その方々に生産指導等を行っております。
- ④新規作物「青パパイヤ」は、病害虫の心配がほとんどなく、今後、栽培技術が向上してくれば、育てやすい熱帯果樹です。健康食材の野菜としても注目されつつあり、遊休農地の解消や省力栽培による生産拡大が期待できます。

今後、上記の提案・資料提供を行い、組合員の方々のお役に立てるよう活動をしていきたいと考えております。上記に関するお問い合わせ、その他、何でもお気軽にご相談ください！！